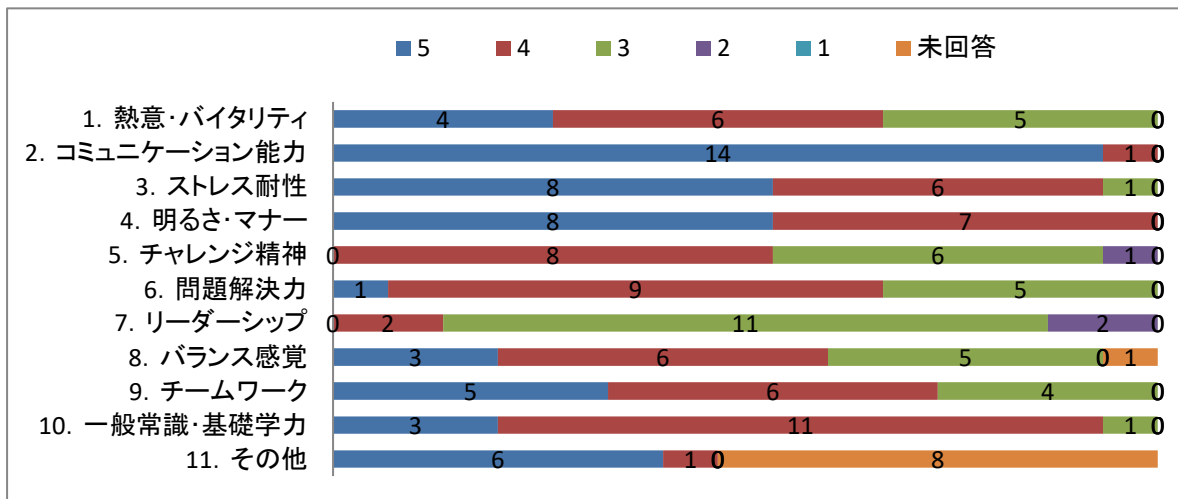


看護学部卒業生の就職先機関への人材ニーズアンケート調査(平成30年度実施)

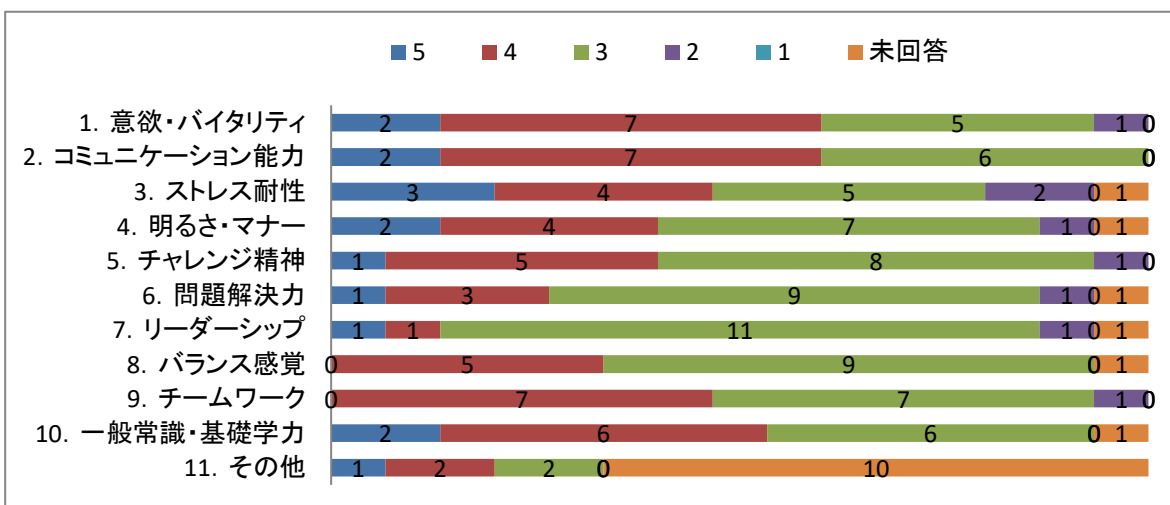
- I. 貴施設において看護師を採用時、どのような資質、能力を求めますか。
採用にあたり、重視する項目についてお尋ねいたします。あてはまる番号を1つ○で囲んでください。
「その他」については具体的にご記入のうえ、番号を1つ○で囲んでください。
5:とても重視する 4:やや重視する 3:どちらともいえない 2:あまり重視しない 1:重視しない



【その他回答内容】

- ・中途採用者の場合、前就業施設の就業期間・退職日・退職理由など :5
- ・誠実さ :5
- ・看護に対する思い :5
- ・看護に対する思い :5
- ・看護に対する思い :5
- ・看護に対する思い :5
- ・積極性・主体性 :4

- II. 本学卒業生の勤務状況について、あてはまる番号を1つ○で囲んでください。
「その他」については、具体的にご記入ください。
5:とても良い 4:よい 3:普通 2:やや悪い 1:悪い

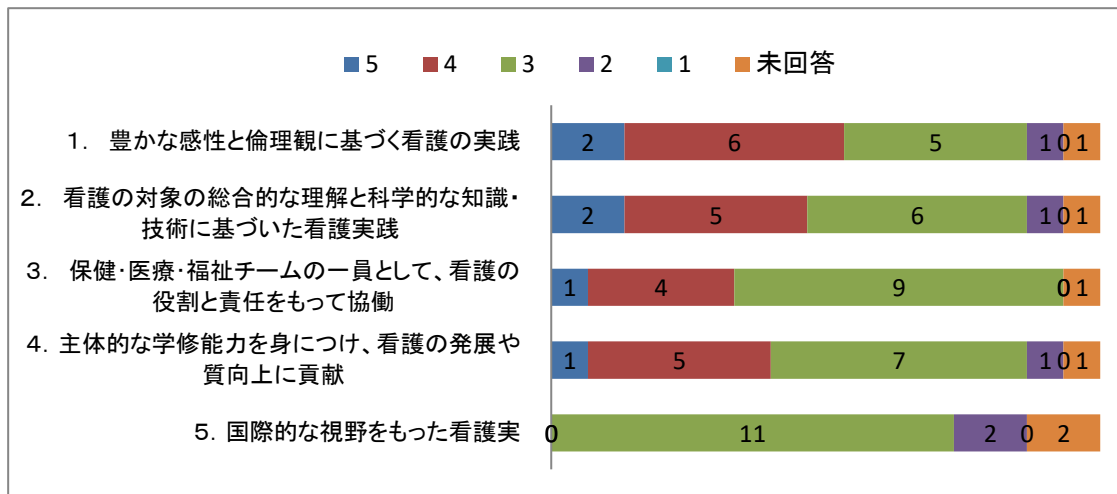


【その他回答内容】

- ・健康 :4
- ・看護に対する思い :3
- ・看護に対する思い :4
- ・他者理解 :5
- ・積極性・主体性(複数の卒業生がいます。二極化しており、平均するとこの評価となります。) :3

Ⅲ. 本学の卒業時の学位授与方針は以下の5項目になっております。貴施設においての本学学生の評価について、あてはまる番号を1つ○で囲んでください。

5:とても良い 4:よい 3:普通 2:やや悪い 1:悪い



Ⅳ. 貴施設で新人教育を踏まえた人材育成のビジョンをお聞かせください。

1.	基礎教育での学習を含め、自らの経験等を活用する学習力を向上させることを基盤にし、自律した専門職者を育成していくことです。そのために現場の教育力を高め、学習する組織づくりを目指しています。
2.	目標:看護チームのメンバーとして自立できる。患者を全人的にとらえ個別的看護が実践できる。 能力:基礎、実践、組織的遂行、キャリア形成の領域に沿った、行動目標を達成すべく集合、分散教育とJNAリーダーを踏えて評価し、成長を承認して行く人材育成 目標管理:各自のキャリアデザインにより1年毎の目標管理をして行くことにより成長する人材育成
3.	当院ではキャリアパスがあり、新人のうちから何を目指し、どのようなナースになりたいのか、必ず各部署管理者が確認し、達成、到達できるよう支援をしています。面談により本人の意向を調査し支援しています。また、卒後教育の他、スペシャリストコースなどキャリアアップを目指すシステムが充実しています。管理者としての教育もあり、経年別に合わせ人材育成ができるよう体制を整えています。
4.	確かな知識と技術に心をこめた看護提供が出来る人材の育成に重きをおいています。Iの設問にすべて5だと望ましいとは思いますが、社会人として看護職として育っていく過程で増えると思うと考えております。
5.	看護専門職業人として、根拠に基づく看護実践のために必要な基礎的知識・技術および社会人専門職業人としての態度を卒後1年間で目指し、臨床実践能力の基盤を形成する。
6.	知識や技術の習得だけでなく、看護に対する思いを重視し、患者家族に寄り添うことができる人材を育てたいと考えている
7.	高度急性期病院であることから環境適応能力・適格な観察及びアセスメント能力があること。そして一期一会の看護(Re Familyの気持ちに寄り添えるCompetency)が提供できること。
8.	看護職として必要な専門的知識・技術・態度および思考判断能力を身につけ、職業倫理に基づき対象のニーズに適した看護を実践する力を養う。医療チームの一員として協働と連携を推進し、看護職としての役割と責任を果たす力を養う。看護実践能力向上とキャリア開発のため、主体的に自己研鑽できる力を養う。
9.	患者・患者を取り巻く人々の人間性を尊重した質の高い看護を提供出来る看護師を育成する。自立的に看護実践能力を高めることができる看護師を育成する。組織に貢献できる看護師を育成する。理論と実践を統合し、看護学の発展に寄与できる看護師を育成する。以上のことを目標として教育を行っております。
10.	当院の方針としては、看護師としての人材育成をしながら、まずは、一社会人として人間形成を念頭に、人材育成をしていきたいと思っています。
11.	個々の成長にあった教育プランを考え、OJTを基本とし、当院看護師の理念である「医療チームの一員として責任を持ち、創造性豊かな思いやりのある看護を実践します」を、主体的に実践できるスタッフを育成する。
12.	当院の人材育成プログラムは、ジェネラリストの育成が中心です。プログラムに基づき、バランスを保ちながら成長してほしいと考えています。

V. 現在、貴施設に在職する本学卒業生に関し、ご意見等がありましたらご教示ください

1.	研究手法について、他大学卒業生と比較すると支援を多く必要としています。理解された後は、十分に実施できていると思いますので、卒業前にもう少し深められると良いと感じています。他校卒業生より、安定感があるように感じます。
2.	在職者は皆さん大変良く就業しています。ただ、退職者は中途退職となる傾向です。社会人としての思考をしてほしいと思います。私共としても努力しますので、宜しくお願いいたします。
3.	臨床の現場で、患者さんご家族の目線で実践ができる、または指導を受けながら実践を行うことができます。“がん看護”に思いが強く、1年生であってもカンファレンスで発言できる力を持っています。非常に頼もしく、その姿に先輩スタッフから信頼を得ています。On、Offの切り替えもでき、自己コントロールもできていますが、何より同施設より就職された先輩・後輩の関係がよいことが、さらに頑張る源になっていると思います。
4.	勤務するにあたっての事前準備や自主学習など丁寧に行い、徐々に成長してきたように思います。ペースはゆっくりですが、着実に仕事を行う姿に管理者として信頼を寄せています。遠慮がちなため、積極的にコミュニケーションをとれるようになると、さらに成長できるように思います。今月からリーダーオリエンテーションが始まりますので、他職種とのやりとりなどを通して、マネジメント力やコミュニケーション力が高められるよう教育したいと思います。
5.	救急病棟の配属です。疑問があれば先輩ナースに速やかに報告、相談し解決することができています。現象を深く掘り下げて考えられることができる時と、できない時の波があります。初年度は体調不良になることもありましたが、今年度は体調管理もできています。
6.	当院では、初の大卒新人看護師ですが、専門学校卒の新人と比較するとしっかり理論に基づいた看護実践ができています。
7.	環境に適応しメンバーシップを発揮しながら、少しずつ成長している卒業生がいる反面、学習する習慣がなく、自己の課題に気づくことができない卒業生がいます。臨床現場で患者の思いをくみとったコミュニケーションがとれず、問題となる場面がみられています。個の特性により、大きな差があるようです。
8.	30年4月採用職員は、当初がんばってくれていましたが、病休に入っています。メンタル面で課題がありました。それ以前の卒業生については、着実に成長いただいています。